

根で見分ける水遣りのコツ

植物の栽培で一番大切な作業は水遣りです。ことわざに水遣り3年というのがありますが、適切な管理ができるようになるためには経験（体験）が必要です。つまり、何度もやっていくと自然に身につくところが大きいのです。与える分量は、温度、湿度、植え込み材料によって左右されるのでいつも同じように与え続けばいいではありません。変化する状況に応じて会わせていくことが大切です。

品種によっては、水を好むもの、適度に乾かしながら栽培したほうがいいものなど種類によって持っている性質が異なります。

基本的に 着生蘭	・・・・・・	乾燥に強い	地生蘭	・・・・・・	水を好む
自生地の環境を知る	・・・・・・	気候（温度、雨量、日照等）	同じ場所でも標高の高低で環		
			境が随分と変わる（実際のその場に行き確かめるのが理想）		

株の姿で判断する・・・例外が多い

らんは、3万種のあるといわれているほど多様性に富んだ植物。株の姿だけでは良くわからないものがある。たとえば、カトレア・コクシネア・・・年中湿度の高い環境にあるため乾燥に強くない。丸いバルブを持っているが、株の姿で判別できない。リカステ・・・幅広く薄い葉と大きなバルブを持っている。葉で判断すると水を好む。バルブで判断すると乾燥に強い。矛盾する株姿。

基本的には

葉	厚い・・・	乾燥に耐える	薄い・・・	水を好む。乾かし過ぎない
バルブ	大きなバルブ	・乾燥に耐える	・バルブがない・・・	水を好む。乾かし過ぎない

最終判断は根

葉の厚さ、バルブの有無はどうであれ、水遣りする際に関係が深いのは根です。そこで、最後は根を見て水遣りの判断をする。

根の特徴によって3つの大きなタイプに分けられる。

- 1 太くて、さわるとつるつとしている・・・乾燥に強い。空気を好む。たっぷり与えてある程度乾かすというサイクルを繰り返す。 カトレア、エンシクリア、エピデンンドラム、ブラッシア、オンシジュウム、ビフレナリアなど
- 2 太いが微細な毛が生える・・・新しい根の先端に大変細かい根毛が生えているもの。植え込み材料が乾ききらないうちに次の水遣りを行なう。 パフィオペヂラム、カランセ、セロジネ、リカステなど
- 3 細くて量が多い・・・根が細くてしかもこまかく分かれて根の量が多い。根の貯蔵組織があまり発達していない。植え込み材料の表面が乾いたら直ぐ水を与える バルボフィラム、デンドロキュラム、デンドロ・カスバトソニー、マキシラリア、マスデバリア、ゴンゴラ、スタンポペアなど

判 別 一 覧 表

葉	バルブ	根の太さ	根毛	水の好み
厚い	ある	太い	ある	水が好き
			ない	乾燥に耐える
		細い		水が好き
	ない	太い	ある	水が好き
			ない	乾燥に耐える
		細い		水が好き
薄い	ある	太い	ある	水が好き
			ない	乾燥に耐える
		細い		水が好き
	ない	太い	ある	水が好き
			ない	乾燥に耐える
		細い		水が好き